

令和 5 年 6 月 20 日現在

機関番号：33104

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18K12000

研究課題名（和文）地域観光情報の深化と情報リテラシーに関する研究

研究課題名（英文）Research on the advancement of local tourism information and information literacy

研究代表者

一戸 信哉 (Ichinohe, Shinya)

敬和学園大学・人文学部・教授

研究者番号：50326625

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究プロジェクトは、観光、情報リテラシー、環境等から研究を進め、情報提供者の役割、フェイクニュース問題、地域の歴史・文化の映像化など多様な角度から検討を行った。特に観光については、新型コロナウイルスの感染拡大により、行動への制約のみならず、観光の概念そのものが大きく揺らぐ中での研究活動となった。

ダークツーリズムは大分、北海道、沖縄を調査対象として、論文、著書などを発表、シンポジウムを通じて、研究成果を広く共有することができた。また実践的な研究として、学生の映像制作の可能性を模索し、観光マーケティングにおけるARの有用性についても検討を行うなどの成果を残すことができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、観光、情報リテラシー、環境という多面的な観点から取り組むことで、社会全体に対する重要な示唆を提供することができた。たとえば、地域の歴史・文化の映像化を通じて、地域の遺産の価値を再評価することは、地域振興の新たな側面を示す試みといえる。

新型コロナウイルスのパンデミックにより「観光」の概念が大きく揺らぐ中、ダークツーリズムを含む観光についての研究は、今後の観光の方向性を考える上で様々な視点を提唱した。各地域での調査や映像制作の教育など、実践的な研究にも取り組んだことで、地域社会との連携や地域資源の活用方法のみならず、社会教育に関連しても、成果を示すことができた。

研究成果の概要（英文）：This research project has been focusing on tourism, information literacy, and environmental aspects, exploring topics such as the role of information providers, issues of fake news, and movie production of local history and culture. Especially, the study of "tourism" was conducted amidst significant disruptions from the COVID-19 pandemic, which not only restricted activities but also fundamentally questioned the concept of tourism itself. Dark tourism related research was mainly focused on Oita, Hokkaido, and Okinawa, contributing to papers and books. Furthermore, members tried to research on practical aspects such as education of video production on local history and the utility of Augmented Reality in tourism marketing.

研究分野：情報メディア論

キーワード：ダークツーリズム 観光情報学 情報メディア論 環境経済学 エコツーリズム 情報リテラシー

## 1. 研究開始当初の背景

ソーシャルメディアを通じた情報環境の変化のもと、観光のあり方は日々変化している。「観光において情報が重要」という考え方に、異論を持つものはいない。多くの人々は、スマートフォンなどモバイルデバイスを介して、現地でタイムリーに得られる情報にも頼りながら、旅をするようになった。しかし、その情報の正確さや公正さについて、社会が多くの関心を持っているとはいいがたい。口コミサイトなどで、不正確な情報が流通する現象は観光分野にも見られ、こうした情報が行政などの提供するオフィシャルな情報を凌駕する状況が見られている。

また、「地域の記憶」を継承するための試みが各地で行われているが、それらはその地を訪れる人々のための「観光情報」にすることを意図してはおらず、観光の観点から有効に活用されているとはいいがたい。特にこうした「地域の記憶」の中には、近代社会の中で現れた「影」の部分が少なからず含まれている。こうした「影」をめぐるダークツーリズムもまた、「観光情報」の一部に含まれることにより、正確かつ公正な形で、社会的に流通し、旅行者を支援するようになると期待できるのだが、情報を発信する観光関係者は、これを必ずしも歓迎していない。

## 2. 研究の目的

本研究は、観光と情報をめぐる事象を、ソーシャルメディアに関する情報リテラシー研究の視点から総合的に把握し、観光と情報の相互関係を明らかにするとともに、「観光において情報が重要」という考え方を実質化するための制度設計を構想することを目的とした。

研究内容は大きく分けて、より公的な「送り手」に関わる領域と、ソーシャルメディアユーザに見られる「受け手」(同時にマイクロな「送り手」でもある)に関わる領域を想定した。

## 3. 研究の方法

研究代表者の一戸は、教育活動の中で、地域文化の映像アーカイブ化やドキュメンタリー映像の制作を指導している。その実践の中で、実際に学生による映像コンテンツ制作を指導しながら視聴者の反応を集めつつ、地域映像情報の有効利用の方法論について解明、さらに現地での調査を行い、「記憶の継承」と情報発信の課題について、検討を行った。

房は環境経済学の立場から、佐渡と中国陝西省洋県の朱鷺外交の成果について、佐渡の観光振興と情報発信の観点、あるいはエコツーリズムの観点から検討を行い、持続可能な観光の可能性を探っていった。

井出は内外の観光情報に関する幅広い研究の蓄積と知見を有しており、これを本研究に適用した上で、新潟県の事例との比較検討を行い、一戸及び房に示唆を与えつつ、自らも内外でダークツーリズムを中心に観光情報学に関する研究成果を発表していった。

## 4. 研究成果

(1)「ダークツーリズム」に関する重要かつ基幹的な研究成果として、研究分担者の井出による二冊の著書『ダークツーリズム：悲しみの記憶を巡る旅』(幻冬舎、2018年)、『ダークツーリズム拡張』(美術出版社、2018年)が挙げられる。2つの著書は本プロジェクトスタートの

段階で出版されたもので、一般向けの書籍であるが、「ダークツーリズム」の概念を広く社会的に認知させることに成功するとともに、その後の本プロジェクトの理論的骨格をなす内容ともなった。

(2) 研究代表者の一戸は、井出の成果を踏まえつつ、独自の視点で「観光情報」に関する研究を続けた。国内では、本務校の所在する新潟県新発田市のほか、北海道宗谷地方、大分県、沖縄県のダークツーリズム関連の遺構、さらにはこれに関する情報発信の状況について検討を行った。拠点となっている新発田市では、大倉喜八郎の別邸「蔵春閣」を移築し、公開するなど、歴史文化観光への関心が高まっているが、戦争や炭鉱労働などの視点を提供することに成功した。

国外での調査については、新型コロナウイルスの感染拡大により、研究期間中に渡航が不可能になったが、感染拡大以前の調査に基づいて、中国・陝西省及び東北三省、台湾中部の「霧社事件」の関連史跡等について、成果をまとめることができた。アジアの各国・地域については、日本統治時代の遺構の保存状況や、それに対する評価・関心などに多様性があり、今後もその比較研究などを進めることで、さらなる成果が期待できる。

(3) エコツーリズムと関連付けた研究は、研究分担者の房が担当し、国内においては新潟県佐渡市及び山形県鶴岡市についての事例研究を行ったほか、国外については中国東北三省のエコツーリズムに関する研究を行った。2022年度に取り組んだUCCN鶴岡やGIAHS佐渡に関するケーススタディでは、認定による観光客数増加への効果が一過性のものであることなどの限界を指摘しつつ、「地域住民の生活や地域文化をより重視し、地域住民がより豊かさを実感できる、地域に貢献する観光」を提唱した。

(4) ソーシャルメディア及びICTに関連した研究成果としては、ネット広告、コールアウトカルチャー、ワクチンデマといったテーマで、研究代表者が研究分科会を開催した。また、「地域を題材とする映像制作」、とりわけダークツーリズムに関連したテーマでの映像制作の実践について、報告を行い、成果をまとめている。また研究分担者の井出は、観光情報におけるARの利用について法的な観点の検討を行うなど、海外での成果発表を行っている。この中では井出は、特にコロナ禍以降大きく環境の変化した観光とテクノロジーのあり方について、日本の視点から研究成果を報告した。

(5) 研究代表者が拠点とする新潟県では、佐渡金山の世界遺産登録へ向けた取り組みが進行中である。この中で、佐渡における朝鮮人労働の問題が大きな注目を集め、このような歴史的な労働問題は、「観光情報」としてどのように取り扱われるべきかという問いが提出されている。本研究では「ダークツーリズム」に関連する成果として新潟県新発田市を取りあげたが、実際には新潟県全体での検討が可能であり、今後の研究に向けての準備を進めることができた。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計18件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 11件）

|                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>一戸信哉                        | 4. 巻<br>19          |
| 2. 論文標題<br>大分県におけるダークツーリズム            | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>人文社会科学研究所年報                 | 6. 最初と最後の頁<br>31-33 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著<br>-           |

|                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>一戸信哉                        | 4. 巻<br>31         |
| 2. 論文標題<br>北海道宗谷地域におけるダークツーリズム        | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>敬和学園大学研究紀要                  | 6. 最初と最後の頁<br>1-20 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし         | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著<br>-          |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>井出 明                               | 4. 巻<br>122         |
| 2. 論文標題<br>COVID-19下の観光、イベント、そして万博           | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>コロナ禍以後のエキシビジョンとツーリズム               | 6. 最初と最後の頁<br>59～78 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>10.32286/00026257 | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       | 国際共著<br>-           |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>一戸信哉                             | 4. 巻<br>30号        |
| 2. 論文標題<br>「台湾におけるダークツーリズム：「霧社事件」関連施設を中心に」 | 5. 発行年<br>2021年    |
| 3. 雑誌名<br>敬和学園大学研究紀要                       | 6. 最初と最後の頁<br>1-22 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし              | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）      | 国際共著<br>-          |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>房文慧                          | 4. 巻<br>18            |
| 2. 論文標題<br>旧「満州国」新京の緑地政策と中国長春のエコツーリズム  | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>人文社会科学研究所年報                  | 6. 最初と最後の頁<br>121-142 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Ide Akira   | 4. 巻<br>15              |
| 2. 論文標題<br>Tourism and ICT Solutions in the COVID-19 Era: A Comparison Between Japan and Sweden | 5. 発行年<br>2021年         |
| 3. 雑誌名<br>The Review of Socionetwork Strategies   | 6. 最初と最後の頁<br>195 ~ 211 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1007/s12626-021-00072-x  | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-               |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>一戸信哉  | 4. 巻<br>17          |
| 2. 論文標題<br>中国・陝西省におけるレッドツーリズム (紅色旅游) について: 西安及び洋県を中心に | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>敬和学園大学「人文社会科学研究所年報」No. 17                   | 6. 最初と最後の頁<br>51-66 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                | 国際共著<br>-           |

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>一戸 信哉                                    | 4. 巻<br>8               |
| 2. 論文標題<br>地域を題材とする映像制作の授業実践報告: 大学での取り組み           | 5. 発行年<br>2019年         |
| 3. 雑誌名<br>日本デジタル教科書学会発表予稿集                         | 6. 最初と最後の頁<br>109 ~ 110 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.20755/jsdtp.8.0_109 | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)             | 国際共著<br>-               |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>房文慧                         | 4. 巻<br>18            |
| 2. 論文標題<br>旧「満州国」新京の緑地政策と中国長春のエコツーリズム | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>敬和学園大学「人文社会科学研究所年報」No.18    | 6. 最初と最後の頁<br>121-142 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|  |                   |
|--|-------------------|
| 1. 著者名<br>井出明                                  | 4. 巻<br>23        |
| 2. 論文標題<br>経路依存性とダークツーリズム 進化経済地理学の観光学への応用を目指して | 5. 発行年<br>2019年   |
| 3. 雑誌名<br>進化経済学会論集                             | 6. 最初と最後の頁<br>1-5 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                 | 査読の有無<br>有        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         | 国際共著<br>-         |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>井出明                               | 4. 巻<br>34            |
| 2. 論文標題<br>ダークツーリズムと世界遺産(最終回)"復興のデザイン"と世界遺産 | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Kotoba                            | 6. 最初と最後の頁<br>184-189 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-             |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>井出明   | 4. 巻<br>33            |
| 2. 論文標題<br>ダークツーリズムでアプローチする高度科学技術社会の新局面                           | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>日本観光研究学会全国大会学術論文集 Proceedings of JITR annual conference | 6. 最初と最後の頁<br>353-356 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                    | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                            | 国際共著<br>-             |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>井出明                                   | 4. 巻<br>31            |
| 2. 論文標題<br>ダークツーリズムと世界遺産(第1回)アウシュヴィッツとクラクフから考える | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>Kotoba                                | 6. 最初と最後の頁<br>134-139 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難          | 国際共著<br>-             |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>井出明   | 4. 巻<br>32            |
| 2. 論文標題<br>ダークツーリズムと世界遺産(第2回)産業遺産の光と影：軍艦島、オーストラリア囚人遺跡群、石見銀山 | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>Kotoba  | 6. 最初と最後の頁<br>156-161 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                              | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                      | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>井出明                            | 4. 巻<br>33            |
| 2. 論文標題<br>ダークツーリズムと世界遺産(第3回)「島」の悲劇性を考える | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>Kotoba                         | 6. 最初と最後の頁<br>168-173 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>房文慧  | 4. 巻<br>28          |
| 2. 論文標題<br>環境問題と観光振興について - 新潟県佐渡市「トキを巡る」環境ツーリズムと関連して - | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>敬和学園大学研究紀要                                   | 6. 最初と最後の頁<br>17-34 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                  | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>一戸信哉                         | 4. 巻<br>28          |
| 2. 論文標題<br>新発田市の地域観光情報とダークツーリズム        | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>敬和学園大学研究紀要                   | 6. 最初と最後の頁<br>35-52 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>一戸信哉  | 4. 巻<br>17          |
| 2. 論文標題<br>中国・陝西省におけるレッドツーリズム (紅色旅游) について: 西安及び洋県を中心に | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>人文社会科学研究所年報                                 | 6. 最初と最後の頁<br>51-66 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                        | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                | 国際共著<br>-           |

〔学会発表〕 計10件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件)

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>一戸信哉・七條麻衣子・斉藤直哉・平和博  |
| 2. 発表標題<br>「「ワクチンデマ」とソーシャルメディア」 |
| 3. 学会等名<br>情報ネットワーク法学会第21回研究大会  |
| 4. 発表年<br>2021年                 |

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>一戸信哉                       |
| 2. 発表標題<br>「ラジオ番組制作の授業実践報告: 大学での取り組み」 |
| 3. 学会等名<br>日本デジタル教科書学会                |
| 4. 発表年<br>2020年                       |



|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>一戸信哉・治部れんげ・中川謙・山口浩    |
| 2. 発表標題<br>コールアウトカルチャーとソーシャルメディア |
| 3. 学会等名<br>情報ネットワーク法学会           |
| 4. 発表年<br>2020年                  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Akira Ide   |
| 2. 発表標題<br>Use of Contact Tracing Apps to Promote Tourism under COVID-19 |
| 3. 学会等名<br>IADIS e-Society 2021 (国際学会)                                   |
| 4. 発表年<br>2021年  |

|                            |
|----------------------------|
| 1. 発表者名<br>田辺幹夫、七條麻衣子、一戸信哉 |
| 2. 発表標題<br>ソーシャルメディアとネット広告 |
| 3. 学会等名<br>情報ネットワーク法学会研究大会 |
| 4. 発表年<br>2019年            |

|                           |
|---------------------------|
| 1. 発表者名<br>井出明            |
| 2. 発表標題<br>「北陸学」の構想とその可能性 |
| 3. 学会等名<br>進化経済学会第23回全国大会 |
| 4. 発表年<br>2019年           |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>井出明                            |
| 2. 発表標題<br>Ghost and Dark Tourism         |
| 3. 学会等名<br>The Aesthetics of Decay (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2019年                           |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>井出明                      |
| 2. 発表標題<br>ダークツーリズムと地域社会 震災遺構と地域の復興 |
| 3. 学会等名<br>地域デザイン学会第7回全国大会          |
| 4. 発表年<br>2018年                     |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>井出明・一戸 信哉・房文慧                |
| 2. 発表標題<br>ソーシャルメディア時代の観光：地域の歴史・文化の活かし方 |
| 3. 学会等名<br>敬和学園大学オープンカレッジ               |
| 4. 発表年<br>2018年                         |

|                                    |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>一戸信哉・七條麻衣子・平和博・山口浩      |
| 2. 発表標題<br>ソーシャルメディアと教育            |
| 3. 学会等名<br>2018年情報ネットワーク法学会研究大会分科会 |
| 4. 発表年<br>2018年                    |

## 〔図書〕 計6件

|                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>井出 明                  | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>文藝春秋                  | 5. 総ページ数<br>224 |
| 3. 書名<br>悲劇の世界遺産 ダークツーリズムから見た世界 |                 |

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>長嶋俊介編、井出明ほか著 | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>藤原書店         | 5. 総ページ数<br>480 |
| 3. 書名<br>日本ネシア論        |                 |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>白坂 蕃・稲垣 勉・小沢 健市・古賀 学・山下 晋司編、井出明ほか著 | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>朝倉書店                               | 5. 総ページ数<br>464 |
| 3. 書名<br>観光の事典                               |                 |

|                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>井出 明                 | 4. 発行年<br>2018年 |
| 2. 出版社<br>幻冬舎                  | 5. 総ページ数<br>237 |
| 3. 書名<br>ダークツーリズム : 悲しみの記憶を巡る旅 |                 |

|                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>井出明       | 4. 発行年<br>2018年 |
| 2. 出版社<br>美術出版社     | 5. 総ページ数<br>200 |
| 3. 書名<br>ダークツーリズム拡張 |                 |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>藤代 裕之・木村昭悟・一戸信哉・伊藤儀雄・山口浩・西田亮介・工藤郁子・小笠原伸・松本淳・小林啓倫・田中輝美・生貝直人・五十嵐悠紀 | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>青弓社  | 5. 総ページ数<br>256 |
| 3. 書名<br>ソーシャルメディア論・改訂版  |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

|  |
|--|
| 新潟8mmフィルムアーカイブ：能生山崩「小泊地すべり」（糸魚川倉又家コレクション）<br><a href="https://www.keiwa-c.ac.jp/info/2018/08/08/48481.html">https://www.keiwa-c.ac.jp/info/2018/08/08/48481.html</a> |
|--|

| 6. 研究組織 |   |                               |    |
|---------|---|-------------------------------|----|
|         | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)               | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)         | 備考 |
| 研究分担者   | 房 文慧<br>(Fang Wenhui)<br><br>(40319017) | 敬和学園大学・人文学部・教授<br><br>(33104) |    |

6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                 | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                 | 備考 |
|-------|---|---------------------------------------|----|
| 研究分担者 | 井出 明<br><br>(Ide Akira)<br><br>(80341585) | 金沢大学・GS教育系・准教授<br><br><br><br>(13301) |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|         |         |